

第3回 出雲市特別職報酬等審議会（概要）

1. 開催日時 令和5年11月14日（火） 13:30~14:30
2. 開催場所 出雲市役所3階 市民応接室
3. 会議の出席者
 - (1) 委員（9名）

会長：福間 正純委員
会長代理：吾郷 美奈恵委員
委員：浅津 知子委員、岩田 宜晃委員、甲山 美紀恵委員、
曾田 厚子委員、布野 敏次委員、山崎 茂樹委員、金村 英俊委員
※欠席者1名（珍部 誠委員）
 - (2) 出雲市（7名）

三島総務部長、三原総務部次長（人事課長）
人事課：曾田課長補佐、藤原係長、吉岡主任、矢野主任、持田主事
4. 次第
 - (1) 開会
 - (2) 福間会長あいさつ（要旨）

お忙しい中、こうして委員の皆様には、お出かけいただきましてありがとうございました。

最近のイベント等で、市長、議長が、土日関係なしで公務をこなされている姿を間近で拝見した。こうして審議会に出掛け、いろいろな行政の仕組みも、初めてわかった。

我々審議会も一出雲市民として、出雲市のために何かできるのではというふうに思っている。

今回の事務局の資料をたたき台に、忌憚のないご意見をいただいて、今回でどれくらい上げるか決めさせていただければと思っている。

(3) 議事

①審議の非公開について

今回は具体的な方針、給料の額の審議ということになるため、第1回の審議会で確認した通り、今回は非公開での審議を確認した。

②前回の議事録の修正の有無についての確認

委員からの意見なし

③提出資料についての説明 【人事課 藤原給与係長】

■改定率試算表について【資料10】

- ・2%増 平成30年以降の人事院勧告の改定率を参考
- ・3%増 市長が米子市と同額となる場合
- ・2.5%増
- ・米子市と同額
- ・参考案として、3%増（千円以下切り捨て）の順に説明した

④質疑

【意見等】

- ・一般市民が明確に納得できるものが良い。改定により議員報酬が一番金額を占めるので、市民に理解してもらえる数字が良い。
- ・米子市と比べているのはよくわからない。
→県庁所在地以外の自治体で、どちらかということと商業が中心である島根県の出雲市、鳥取県の米子市という意味で比較している。
- ・一律何%で総支出額を見ると、人数が一番多い議員分の影響額が大きい。一律何%としなくても良いのではないか。
- ・各自治体で役職ごとのウエイトが違うよう。一律何%の方法が分かりやすいと思う。
- ・他市の状況はどうか。出雲市だけあがるのもどうかと思う。
→米子市が0.3%、1千円から3千円上がるよう。
- ・各市によって審議会開催の取り組みが違う。
- ・議員をみると、県内他市との報酬の額にかなり開きがある。こんなに開きがあってもよいのかと思う。
- ・議長と副議長の活動状況を見ると、議長・副議長と議員の報酬の差が小さいと感じるが、市民のお世話をしようと思って出てこられた議員なので、1～2年間でもあり仕方がないと受け止めた。
- ・審議会では報酬や給料の月額だけ審議するが、期末手当の加算率などもあり、月額だけ審議してもどうかと思う。
- ・参考の3%が良いのではないかと思う。費用として、市長のところは厚く、議員のところは薄くすれば、総トータルでもそこまで財源を圧迫しないの

ではないか。

- 人事院勧告の月例給改定率は納得してもらいやすいものさしかと思う。
- 国家公務員賃金に対するものを参考すると、地方にとっては高くなる気がする。地方と中央の隔たりがある気がする。
→中央と地方の差は、地域級で差をつけ調整されている。
- 民間では、このところの物価高、エネルギー高の中、この春のベースアップ3%もあった。
- 最近の連合では、定期昇給5%で闘っているところ。
- 2%は上げるべき。米子市より低いのはなんでだろうと思う。
- 2%は最低かと思う。3%でも良いと思うが、皆さんが納得できるのは人事院勧告の資料かと思う。

【決議】

- 今、これだけ戦争があり円安が進んでいる一方、株価が上がっているので、非常に先が読めない経済状況。今後、審議会は定期的開催されると思うので、その時の経済情勢を見て検討していただく。今回は2%改定としてはいかがか。

(拍手により、全会一致)

【答申】

答申内容について審議し、最終的な決定は、会長及び会長代理に一任することとなった。

(終了)